

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	基本事業	確かな学力の育成		事業実施主体	市
	事務事業	特別支援教育推進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	学校教育法の改正等を踏まえ、様々な障害のある児童生徒に対する適切な教育を行うため、市内の小・中学校に特別支援教育支援員・特別支援教育サポーターを配置し、学校生活上の介助や学習活動上の支援等を行う。（平成28年度から、夏休み短縮に伴って支援員・サポーターの勤務時間延長1050h、1075h） 発達障害の子どもの保護者と教員を対象に、子どもたちが自立し社会生活をスムーズに送ることができるよう、専門家によるソーシャルスキルトレーニングに関する研修会を実施する。 総合教育センターに高松第一中学校通級指導教室のサテライト教室を設置し、中学生を対象とした通級による指導を行う。				
30年度概要	小学校49校中42校（うち2校に2人）、中学校23校中21校に支援員を配置する。・支援員65人を雇用、1日5時間勤務（時給980円） 小学校49校中29校、中学校23校中15校にサポーターを配置する。・サポーター44人を雇用、1日5時間勤務（時給980円） ソーシャルスキルトレーニング研修会を実施する。・年間2回 サテライト教室（第一中学校通級指導教室）を運営する。				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	1-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）


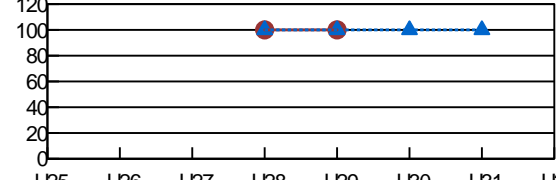
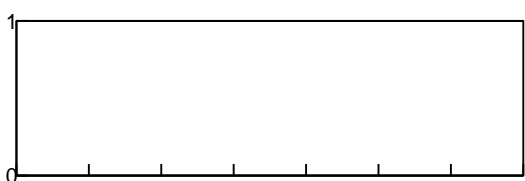
【事業の目的】

対象（何を）	特別支援学級を設置している市内の小・中学校。
意図（どのような状態にしたいか）	特別な支援を必要とする児童生徒に対する教育の充実を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
支援員延べ活動時間数	時間		68,250	68,250	72,128	72,128

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
特別支援教育支援員配置率	%	目標値		100	100	100	100
		実績値		100	100		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 特別支援教育支援員配置事業は、市内小・中学校における特別支援教育を推進する上で大きな役割を果たしている。学校側からの評価も高いことから、支援員・サポーターの配置を希望する全ての小・中学校の要望に応じていく必要がある。 							(達成度) 100.0% 35点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	120,295	121,381	118,958	124,379
（事業費）	[円]	112,618	113,530	111,371	116,792
（職員人件費）	[円]	7,677	7,851	7,587	7,587

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	拡充
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

特別な支援を必要とする児童生徒の多様な教育ニーズに応じた適切な教育が求められている中、特別支援教育支援員の果たす役割は大きく、今後も事業の充実を図っていく必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

各校のニーズに応じた支援を求められており、配置等について改良を考える余地がある。保護者からの個別のニーズも高まっており、支援員・サポーターの研修の充実を図る必要がある。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	基本事業	確かな学力の育成		事業実施主体	市
	事務事業	少人数学級推進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要 公立小・中学校の学級編制は40人を標準としながらも弾力化が認められている。本市独自の教員採用により、小学校高学年（主に5、6年）において少人数学級編成を行い、個に応じた分かる授業を展開し基礎学力の定着（学習指導・進路指導の充実）を図る。また、学習面だけでなく生活面においても、個に応じた細やかな指導（生徒指導の充実）を行い、児童の安定した学校生活の推進を図る。
対象：小学校高学年（主に5、6年）の児童が1学年106人以上、1学級35人以上の児童数を有し、施設面で対応可能な希望学校を対象とする。

30年度概要 少人数学級推進校8校を対象として、市費で音楽等を教える講師を各校1名採用し、県教委から配置される専科教員を学級担任とし、本市独自の少人数学級編成を行う。

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	1-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）
--------	------	----------	----	---------	-------------------

【事業の目的】

対象（何を）	小学校5、6年生
意図（どのような状態にしたいか）	個に応じたきめ細かな指導の充実を図るとともに、少人数での落ち着いた学級経営を行う。 配置率 = 配置校数 / 対象校数

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
少人数学級市費講師配置人数	人		8	8	8	8

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	少人数学級市費講師配置率	%	目標値		100	100	100	100
			実績値		100	100		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 少人数学級編成推進校における教育効果を踏まえ、対象校への配置を達成していく必要がある。 (目標達成度)							(達成度) 100.0% 35点
	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	高松市独自の少人数学級編成校数	校	目標値		8	8	8	8
			実績値		8	8		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 小学5、6年生のうち、6年生を中心に配置を進めており、今後必要に応じた充実を図っていく必要がある。 (目標達成度)							(達成度) 100.0% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	30,908	32,445	32,596	33,110
（事業費）	[円]	23,231	24,594	25,009	25,523
（職員人件費）	[円]	7,677	7,851	7,587	7,587

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	----------	--------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）
 少人数学級編成推進校における教育効果を踏まえ、推進校の拡充を図って行くことは、施策の目的に沿っており、効果は高いと考えられる。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）
 少人数学級編成の教育効果が大変大きいことが確認されており、他の学校、保護者、さらに地域からも少人数学級編成を望む声強いことから、充実を検討する必要がある。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	基本事業	確かな学力の育成		事業実施主体	市
	事務事業	帰国児童等指導援助事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	市立の小中学校に在籍する児童生徒で、日本語指導を必要としている帰国児童生徒・外国人児童生徒に、学習や生活についての指導援助を行う指導者を派遣することにより、日本語で学習に参加できるよう日本語指導を行い、学校生活を支援する。また、帰国児童等に日本語指導及び学習支援を行う団体に対し、予算の範囲内で補助金を交付することにより、日本語の使用に困難を有する帰国児童等の学校生活への適応を促進する。
-------	--

30年度概要	帰国児童等指導援助 (月2回程度) 指導援助事業補助金交付 (440千円)
--------	--

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務無)
--------	----------	---------	-------------------

【事業の目的】

対象(何を)	市内小・中学校の児童生徒
意図(どのような状態にしたいか)	日本語指導の必要な児童生徒に日本語指導や生活指導を行うことにより、学校生活への円滑な適応を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
派遣延べ回数	回		488	409		600

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	帰国児童等の学校生活への適応率	%	目標値		100	100		100
			実績値		100	100		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 市が設置する小中学校で教育上必要であり、本事業の実施により教育の充実が図られ、目標どおり達成できた。 (目標達成度)							(達成度) 100.0% 35点
	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[千円]	8,120	7,844	6,813	8,151
(事業費)	[千円]	4,281	3,918	3,019	4,357
(職員人件費)	[千円]	3,839	3,926	3,794	3,794

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

市が設置する小中学校で教育上必要であり、本事業の実施により教育の充実が図られ、目標どおり達成できた。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

社会の国際化による外国人児童生徒の増加に伴い、対応児童生徒の増加と対応言語の複数化の必要が考えられる。常態的な対応が必要ではないので、必要な事態が生じた場合の対応を確認しておく必要がある。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	基本事業	確かな学力の育成		事業実施主体	市
	事務事業	総合的な学習の時間活性化推進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	総合的な学習の時間の充実や地域等の教育力の有効活用のために、各小・中学校に経費補助を行う。		
30年度概要	小学校47校、中学校23校に経費補助を行う。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	高松市立小・中学校
意図（どのような状態にしたいか）	地域人材等を活用し、児童生徒の体験活動の充実を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
事業実施校数	校		72	72	71	71

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	総合的な学習の時間における地域人材活用率	%	目標値		100	100		100
			実績値		100	100		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 地域人材等の積極的活用や、多様な人材確保のための情報収集等により、目標は十分に達成できている。 (目標達成度)							(達成度) 100.0%
								35点
	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	9,401	9,470	8,015	8,015
（事業費）	[円]	6,330	6,330	4,980	4,980
（職員人件費）	[円]	3,071	3,140	3,035	3,035

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

各校でそれぞれ特色のある学習への取り組みを行っているが、時代のニーズに合った内容を取り入れるなど充実を図る。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

学習指導要領に定められている時間である。経費補助について金額、用途についての現場からの質問があることから検討を要する。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	基本事業	確かな学力の育成		事業実施主体	市
	事務事業	教材研究等事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	教職員が使用する教科書及び指導書等の整備を行い、義務教育の充実を図る。				
30年度概要	教師用教科書の購入 ・小学校は、改訂年は学級数分（特別支援学級を含む）購入、翌年度以降は学級増分のみ購入 ・中学校は、改訂年は担当教員数分購入、翌年度以降は担当教員増分のみ購入 教師用教科書指導書の購入 教師用副読本の購入 ・小学校は同上 ・中学校は、改訂年は学級数分（指導書は各学年1冊）購入、翌年度以降は学級増分のみ購入 教師用副読本指導書の購入				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）		

【事業の目的】

対象（何を）	市内小・中学校の教員
意図（どのような状態にしたいか）	授業内容を確実に理解し、確かな学力を育むことができるよう、一人一人の理解や習熟の程度などに応じたきめ細やかな指導を行う。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
教師用教科書購入冊数	冊		5,194	1,198		4,619

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	高松市立小中学校教員への配布率	%	目標値		100	100		100
			実績値		100	100		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 市が設置する小中学校で教育上必要であり、本事業の実施により教育の充実が図られ、目標どおり達成できた。 (目標達成度)							(達成度) 100.0% 35点
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		目標値					
	(目標達成度)		実績値					
								(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	114,845	46,852	11,991	23,563
（事業費）	[円]	111,006	42,926	8,197	19,769
（職員人件費）	[円]	3,839	3,926	3,794	3,794

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
市が設置する小中学校で教育上必要であり、本事業の実施により教育の充実が図られ、目標どおり達成できた。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
少人数学級や加配教員の配置などに伴い、学校現場から指導書等の必要数増の要望の精査を行い、新基準を定める必要がある。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	総合教育センター
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	基本事業	確かな学力の育成		事業実施主体	市
	事務事業	教育相談・就学指導委員会開催事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	心身に障がいのある児童生徒の自立と社会参加を旨とした教育の実現に向け、特別支援教育に専門的な知識と深い経験を持つ医師や、大学教員、特別支援教育関係者等で構成する就学指導委員会で、児童生徒の障がいの種類、程度の的確な判断を行い適正な就学指導を行う。				
30年度概要	教育相談（年7回） 就学指導委員会（年5回） 特別支援教育の推進に係る補助金の交付 ・特別支援教育推進協議会補助 ・特別支援学級連合宿泊学習事業補助				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）		


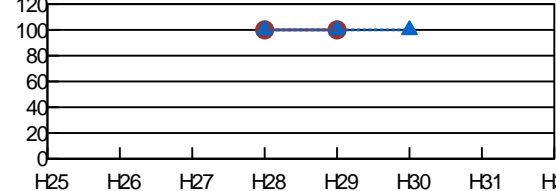
【事業の目的】

対象（何を）	市内の幼児児童生徒
意図（どのような状態にしたいか）	未来を担う子どもたちの「生きる力を育む教育の充実」には、個に応じた教育の充実を図ることが重要であり、そのために子どもの実態を的確に判断して、指導や相談を行うことを目的とする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
教育相談・就学指導委員会の開催回数	回		11	12	12	12

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
就学指導委員会判定率	%	目標値		100	100	100	100
		実績値		100	100		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 教育上必要であり、本事業の実施により個に応じた教育の充実が図られ、目標どおり達成できた。 							(達成度) 100.0% 35点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	9,258	9,455	9,189	9,293
（事業費）	[円]	1,581	1,604	1,602	1,706
（職員人件費）	[円]	7,677	7,851	7,587	7,587

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	拡充
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 相談件数、判定件数とも年々増加している。そのため、就学指導委員会での一人あたりの審議時間を十分に確保することが厳しくなってきたことが課題である。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 就学指導委員会の回数増や常設の相談窓口を設けるなどの手立てを検討する。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	基本事業	確かな学力の育成		事業実施主体	市
	事務事業	教育研究研修事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	「高松市生徒みらい議会」（H28まで「高松市子ども議会」）を開催し、小・中学校の児童生徒の代表が、より良いまちづくりについてテーマごとにグループ会議を行い、未来の有権者として市政についての関心と理解を深める。				
30年度概要	「高松市生徒みらい議会」の開催 香川県小・中学校文化連盟負担金 教育関係団体補助金等				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）		

【事業の目的】

対象（何を）	市内中学校及び高松第一高校の生徒
意図（どのような状態にしたいか）	市政についての関心と理解を深めるとともに、生徒の表現力を培い、情操を高める。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
補助金等交付件数	件		16	14		16

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
		高松生徒みらい議会参加者数	人	目標値		36	36	
			実績値		33	32		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度) 88.9%
	高松生徒みらい議会に参加した児童生徒にとって、貴重な経験となり、参加人数は概ね達成できた。	(目標達成度)						
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
		(目標達成度)						

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	14,055	14,117	11,375	10,209
（事業費）	[円]	10,216	10,191	7,581	6,415
（職員人件費）	[円]	3,839	3,926	3,794	3,794

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
参加した生徒にとっては貴重な体験であり、市政に対する理解が深まった。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
本事業における児童生徒の体験が学校生活や、他の児童生徒にどのように生かす方法があるかを考え、事業実施を工夫していきたい。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	基本事業	確かな学力の育成		事業実施主体	市
	事務事業	英語教育推進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	各中学校に、「英語指導等を行う外国青年招致事業」(JETプログラム)により1名の外国語指導助手(ALT)を配置している。また、小学生から実施する英語教育において、学級担任を補助する英語指導補助員を全小学校に配置している。夏季休業中に高2年生、児童が希望者を対象に1日英語生活体験教室を開催し、英語指導補助員を全小学校に配置している。授業が外国語で行われたことを踏まえ、中学校での英語指導及び、小学校での英語指導や外国語活動の指導を充実させる必要がある。また、英語・外国語活動の授業だけでなく、ALTとの様々な活動(休みの時間や学校の行事等)を通して、児童生徒のコミュニケーション能力の育成と、国際理解教育の推進を一層図る必要がある。				
30年度概要	各学校に外国語指導助手(ALT)を派遣 ・ALT22人を雇用 全小学校に英語指導補助員を派遣 ・英語指導補助員を47校に雇用(年70h、105h) 1日英語生活体験教室(夏休み1回)及び英語出前キャンプの開催				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト 1-	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務無)	


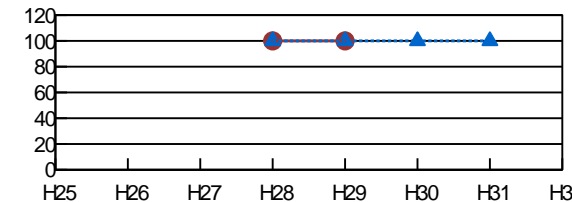

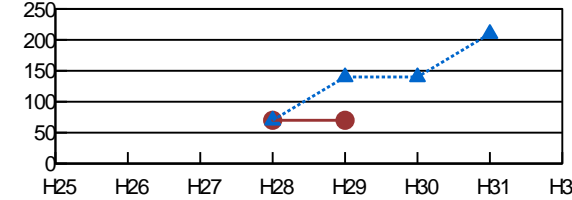
【事業の目的】

対象(何を)	市内小・中学校の児童生徒
意図(どのような状態にしたいか)	外国語指導助手(ALT)等の指導を受けることにより、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力向上と英語指導補助員が小学校教員(3～6年生)をサポートすることで、より楽しく効果的な授業づくりを補助し教職員の資質の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
外国語指導助手(ALT)延べ授業日数	日		4,180	4,180	4,180	4,180
英語指導補助員延べ派遣時間数	時間		3,360	3,360	6,720	10,080

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
外国語指導助手(ALT)配置率	%	目標値		100	100	100	100
		実績値		100	100		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 目標通りの配置ができるよう配置計画を進めている。今後小学校外国語教育に積極的なかわりを持つため、小学校への配置日数や方法について、検討を進める必要がある。 							(達成度) 100.0% 35点
英語指導補助員1人当たり派遣時間数	時間	目標値		70	140	140	210
		実績値		70	70		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 事業開始年(H26)より1校当たり年間平均70時間派遣しているが、過当たりりに換算すると2時間である。平成32年からの5・6年教科化、3・4年外国語活動必修化に向けて派遣時間数を増やし、小学校英語の充実を図る必要がある。 							(達成度) 50.0% 17点

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	128,468	127,055	128,070	131,802
(事業費)	[円]	113,114	111,353	112,896	116,628
(職員人件費)	[円]	15,354	15,702	15,174	15,174

【評価】

評価ランク (A～D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	拡充
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

外国語指導助手は通常授業において英語科教員等とともに行うティーム・ティーチングで、コミュニケーション活動を中心に授業展開をすることから、英語によるコミュニケーション能力を身につけ、国際理解を深める上で有効であり、今後も継続が必要である。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

市が設置する小中学校で教育上必要であり、本事業の実施により教育の充実が図られ、目標どおり達成できた。平成32年からの5・6年教科化、3・4年外国語活動必修化に向けて派遣時間数を増やし、小学校英語の充実を図る必要がある。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	基本事業	確かな学力の育成		事業実施主体	市
	事務事業	児童生徒副読本支給事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	学校教育における補助教材としての副読本を支給し、保護者負担の軽減と教育効果の向上に努める。		
30年度概要	児童副読本の購入 ・体育（わたしたちの体育、1～6年生） ・道徳（なかよし、1・2年生）（ともに生きる、3・4年生）（わたしのいく道、5・6年生） ・社会（高松の今と昔、3・4年生） 生徒副読本の購入		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	市内小・中学校の児童生徒
意図（どのような状態にしたいか）	学校での社会科の指導や道徳の時間などに活用し、教育の充実を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
児童生徒副読本購入冊数	冊		66,301	65,789		40,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	児童生徒副読本配布率	%	目標値		100	100		100
			実績値		100	100		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 市が設置する小中学校で教育上必要であり、本事業の実施により教育の充実が図られ、目標どおり達成できた。 (目標達成度)							(達成度) 100.0% 35点
								(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[千円]	39,347	39,256	38,582	32,505
（事業費）	[千円]	35,508	35,330	34,788	28,711
（職員人件費）	[千円]	3,839	3,926	3,794	3,794

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 市が設置する小中学校で教育上必要であり、本事業の実施により教育の充実が図られた。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 授業への活用について、より一層の活用を促していく。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	高松第一高等学校事務局
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-861-0244
	基本事業	確かな学力の育成		事業実施主体	市
	事務事業	高等学校英語教育推進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	選択コースとして国際文科コースを創設し、外国からの招聘講師による授業や、外部講師による英語による授業、海外語学研修を実施するなど、多様な手法により国際化に対応できる人材の育成を図る。			
30年度概要	姉妹都市招聘講師報酬等・国際英語コース海外研修引率旅費			
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	


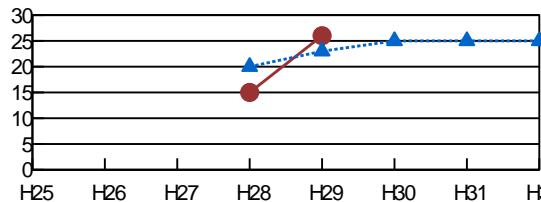
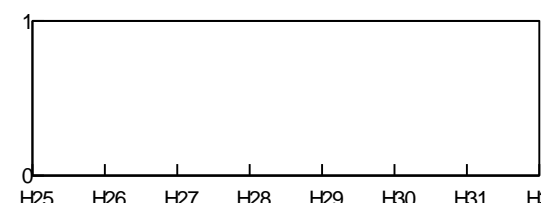
【事業の目的】

対象（何を）	全校生徒
意図（どのような状態にしたいか）	外国人招聘教師と生徒との交流、海外語学研修でのホームステイを行い異文化を体験し、生きた英語を学ぶ。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
招聘講師の授業回数	回		23	24	25	25

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	国際文科コース卒業生の国公立大学合格者数	人	目標値		20	23	25	25
			実績値		15	26		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 外国からの招聘講師による授業等を実施し、英語教育の推進を図っており、国際文科コースからの国公立大学の合格者数は前年度と比べて増加した。  （目標達成度）		 （達成度） 113.0% 35点					
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		（目標達成度）	 （達成度）				

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	42,138	43,066	42,164	42,164
（事業費）	[円]	3,753	3,811	4,229	4,229
（職員人件費）	[円]	38,385	39,255	37,935	37,935

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
国際文科コースにおいて、外国からの招聘講師による授業や外部講師による英語での授業、海外語学研修を実施した。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
今後とも、実用的な英語教育を実施することにより、国際化に対応できる人材の育成を図る。			

平成30年度(29年度決算分)高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	高松第一高等学校事務局
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-861-0244
	基本事業	確かな学力の育成		事業実施主体	市
	事務事業	高等学校教材研究等事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	教師用教科書・指導用図書の購入を始め、ピアノの調律、パソコン等の賃貸借料、教育備品の購入等、直接的に教育に関わる教材の管理・整備に要する事業である。		
30年度概要	教師用教科書・指導用図書の購入を始め、ピアノの調律、パソコン等の賃貸借料、教育備品の購入等、直接的に教育に関わる教材の管理・整備に努める。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務無)

【事業の目的】

対象(何を)	生徒
意図(どのような状態にしたいか)	生徒の学力を向上させる。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
備品の整備(生徒用机・椅子)	台		46	50	50	50

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
成果指標	国公立大学の合格率	%	目標値		35	35	35	35
			実績値		31	34		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 教育関係の備品等を整備することにより、生徒の学力の向上を図り、国公立大学への合格率が上昇している。 (目標達成度)							(達成度) 97.1% 33点
	成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか) 成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)						

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	142,308	146,691	142,211	142,211
(事業費)	[円]	19,476	21,075	20,819	20,819
(職員人件費)	[円]	122,832	125,616	121,392	121,392

【評価】

評価ランク(A~D)	A	今後の方向性(拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
教師用教科書・指導用図書及び理科・数学を始めとする教材の購入のほか、ピアノの調律、パソコン等の賃借など、教材等の管理・整備を行った。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
教育備品の購入等、直接教育に関わる教材等の管理・整備を引き続き実施し、教育環境の充実を図る。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	839-2616
	基本事業	確かな学力の育成		事業実施主体	市
	事務事業	理科教育支援員配置事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	児童の科学への興味・関心、学習への意欲を高めるとともに、担任が指導する理科授業の内容を向上させるため、小学校の指定校に「補充学習や発展的な学習など、学力向上等のための学校サポーター」として、理科支援員を配置し、理科授業の支援を行う。主に5、6学年の授業を支援対象とする。
-------	---

30年度概要	
--------	--

重点取組事業	市長マニフェスト 1-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）
--------	-------------	---------	-------------------


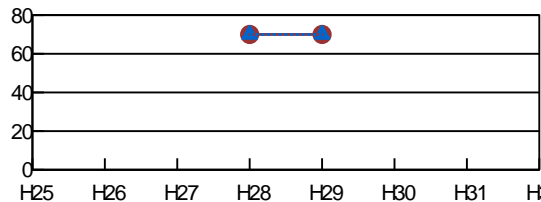
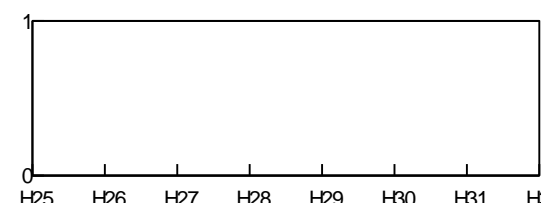
【事業の目的】

対象（何を）	理科教育支援員配置指定校となった小学校
意図（どのような状態にしたいか）	小学校理科学習における観察・実験の充実及び教員の理科指導力の向上を図る。 理科授業への興味向上比率

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
1校当たり派遣時間数	時間		350	330		

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	指導者アンケートにおける、理科教育に関する児童の興味向上	%	目標値		70	70		
			実績値		70	70		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 理科教育の底上げの必要性は、全国的に見ても高く、本事業は、理科教育に関する児童の興味喚起に効果を発揮していると考えられる。  (目標達成度)							(達成度) 100.0% 35点
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	7,367	7,431	7,422	0
（事業費）	[円]	3,528	3,505	3,628	
（職員人件費）	[円]	3,839	3,926	3,794	0

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	完了
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

児童の科学への興味・関心、学習への意欲を高めることに十分に貢献した。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

平成30年度から配置するスクールサポートスタッフに理科教育支援員の業務の一部を担当させ、引き続き理科授業の支援を行う。